お子様の御卒業、おめでとうございます。

本年度の卒業生にとっては、新型コロナに翻弄された小学校終盤と中学校生活だったと思います。マスク着用に加え、「中止」「縮小」「短縮」などが続いた学校生活でしたので、保護者の方々におかれましては、もどかしい三年間だったのではないでしょうか。こんな状況で始まった令和四年度でしたので、可能な限り「やっていこう」という方針で進めてきました。卒業生にとって口中での生活を有意義だったと思ってくれたら幸いです。

卒業生は、本日の卒業証書を手にした瞬間（在籍としては三月三十一日）をもって義務教育期間を修了し、それぞれの道を歩み出します。南島原市を離れる生徒もいて、次に会うのは成人式（三年後？）でしょうか。成長した姿で、近況や未来への夢を語り合ってくれたらと、その日を楽しみにして送り出したいと思います。卒業、おめでとう！

これまで育ててこられた保護者や御家族の皆様、ほんとうにお疲れさまでした。

それぞれの夢が叶いますように

彼らとの思い出は、体育大会や文化学習発表会、合唱コンクール、部活動や中総体、そして日々の授業や生徒会活動など、限りなくあるのですが、その中でも、校長室で行った個別面談は大切な思い出です。

緊張した表情で校長室に入り、三分間という時間制限の中で（中には十二分間も話し続けた生徒もいましたが…）、たどたどしくも一生懸命に夢を語るときの生徒たちの表情は本当にキラキラしていて「全部叶えてやりたい！」と心から思ったものでした。

これから中学校を卒業して、その夢への一歩を歩みだす彼らですが、人生の中では辛いことや心が折れることが幾度かはあると思います。「もうだめだ」と思う時もあるかもしれません。そんな時は、いつでも帰って来られる場所（口之津）があると思ってくれたらと思います。「予測不能」と言われる未来ですが、**自己を高め、よき人と出会い、チャンスを逃さず掴んで夢を叶えてほしい**と願っています。そして彼らがそれぞれの幸せをつかむまでは、保護者の皆様といっしょに見守っていけたらと切に思います。どうぞよろしくお願いします。

《 主な行事予定 》

〈３月〉
３月２４日（金）…修了式、離任式

〈４月〉
４月７日（金）…着任式、始業式

〈５月〉
５月１４日（日）…体育大会

〈６月〉
６月１１日（日）…市中総体
球技武道大会
～１２日（月）
６月２０日（火）…市中総体
陸上競技大会

《コラム 港町ブルース》

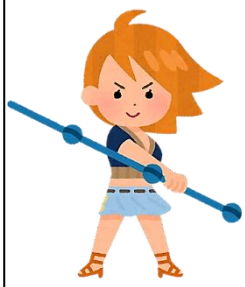
風

目的や目標は数あれど、実行するかしないかということにおいては、二者択一です。日々の選択の場面で「やる」か「やらない」か――、この決断と実行によって生徒たちは、それぞれの人生を選びながら歩んで行きます。

アマゾンの奥地に生息する一羽の蝶の羽ばたき一つでも、その風があるかないかで世界が違う方向に流れ出すと言われます。

心の中に風は吹いているか。

世界を変えなくとも、自分を変える「風」は自分で起こしたい。卒業生に送りたいメッセージの一つです。



《心に響いた言葉》 「進学へ向けて課題をしています。」

放課後、自主学習をしていた３年生の言葉から。いい表情をしていました。

本年度の歩み

コロナ三年目、そんな中でも生徒たちは、自分たちの力を信じて一生懸命に取り組んできました。ほんの一部ですが、写真を見ながら彼らの活躍を想像していただけたら幸いです。

ふるさとの文化・歴史・人物 ―― 口之津中教育の視点から

南島原市の農業力

南島原市の「農業」がすごい！と、誇らしく思えるデータを見つけました。「市町村別出荷量ランキング」です。どうぞ御覧ください。

（全国の市町村数は、現在一七二四です。）

「ばれいしょ」全国六位！
「イチゴ」全国五位！
「たまねぎ」全国十三位！
「びわ」全国二十一位！
「メロン」全国二十二位！
「トマト」全国二十五位！
「レタス」全国四十位！

（R2農林水産省大臣官房統計部資料から）

この他、長崎県内一位に「きゅうり」「梨」「桃」が並び、その他の作物でも県内ベスト5に入るものが十八品目入っていました。「食（特に野菜）」は、いつの時代も人間が生きる上で需要のある産物です。ここにも南島原市の可能性を感じています。

【御礼】

未来は〝予測不能〟と言われていますが、社会がどんなに変化しようとも、卒業生たちが明るくすこやかに、そして、ふるさと南島原との関係を保ちながら生き抜いてくれたらと心から願っています。

これまでお寄せいただいた御理解と御協力ほんとうにありがとうございました。

《今日は何の日》3月14日…ｱｲﾝｼｭﾀｲﾝ誕生、3月17日…ｼｮﾊﾟﾝﾃﾞﾋﾞｭｰ、3月21日…ﾊﾞｯﾊ誕生、3月26日…ﾍﾚﾝｹﾗｰ発声訓練開始、3月27日…吉田松陰アメリカ渡航未遂、3月31日…教育基本法公布、4月6日…第1回オリンピック開会